

**DAY4**

**STAGE5**

# タイムアタック

in TIサーキット 英田

マシンセッティングの完成度が、如実に現れる

サーキット・タイムアタック。が、ウラをかかれたウェットコンディションには、チューナーの経験度で勝負。走り込みに賭けろ!!

TIサーキット  
英田コース図



ガビーン!? なんとウェットだった  
うっ! やっぱ路面は乾かなかつ  
たか。昨日は夕方からだいぶ降  
ったからねえ。ガレージ福井のウ  
ニ横山は、ツーリング区間の中国道では100km/h弱でもハイドロブレーニングでビビッたもん  
ね。ま、それだけ降れば、今はま  
だ夜明け頃だから乾いてなくて  
も当然か?

13シルビア)もチューナーに混じ  
つてアタックだ。  
それぞれアタックの時間は、15  
分間が2回。その前に、マシンの  
コンディションをみるために30分  
のフリー走行が設けられた。

しかし、まあ、さすが。みんな  
気合が入っているだけあって、サ  
スペンションのセッティングやタ  
ンクが2回。その前に、マシンの  
コンディションをみるために30分  
のフリー走行が設けられた。  
そして、Bグループ。注目は、  
今までのステージでマッキー牧原  
に惜敗しているニヤ倉クラゾーが  
タクとった。Daiiはジャリを落とす作業が必要で、一回目の  
アタックはこれでオシマイ。  
そして、Bグループ。注目は、  
今までのステージでマッキー牧原  
に惜敗しているニヤ倉クラゾーが  
タクとった。Daiiはジャリを落とす作業が必要で、一回目の  
アタックはこれでオシマイ。

そして、Bグループ。注目は、  
今までのステージでマッキー牧原  
に惜敗しているニヤ倉クラゾーが  
タクとった。Daiiはジャリを落とす作業が必要で、一回目の  
アタックはこれでオシマイ。

そして注目のマインズが3位  
ニヤ倉クラゾーにしてみれば初めてのウェット路面でのサーキット

アタックだし、この順位はいたし  
かたないか?

ま、順位をみると、やっぱGT

ソーダに、そんな心配は必要な  
かったが、このウェット路面に手  
を焼き、いまいちタイムが伸びな  
い。

一方のマッキーはTーの走行経  
験の豊富さを生かして攻めまく  
っている。コース幅から、なにから  
にクルマを入れたのはまだ東の空  
に暗いうちなのに、全車ボンネット  
を開けたりウマでクルマを上げ  
たりしているもんね。その気合が

また、皆さん昨夜は、「コースが

乾いたら、タイヤはとりあえず新  
品にして、足はこうしよう」とか  
考えましたけど、ああ残念。ウ  
エットのTーを走つたことのある

のはマッキーくらいのもんだから、  
このアタックは見れそうだぞ。  
それでは、タイムアタックに入  
るか。まず、チューナー車團を入  
り4台ずつのAグループとBグル  
ープのふたつに分ける。これは、コ  
ースコンディションも考へ、とに  
かくクルマ同士の事故がないよう  
にしたいし、クリアな状態で思い  
つき走つてもらおう、ということ  
で、Aグループはガレージ福  
井(圭オフィス、ブリッツ、Da  
i、BグループはHKS関西、ト  
ライアル、マインズ、レイズ、と  
分けられた。そして、Bグループ  
には大阪から来てくれた、読者チ  
ヤレンジャーの川井英樹クン(S

コースに飛びだすと、ピットレー  
ンからそのままコーナーのサン  
ドトラップへとまっしぐら! 最  
初の一コーナー進入のブレーキ  
グでタイヤをロックさせ、まるで  
ゴルフのごとく、飛距離が出すぎ  
てバンカーに入ってしまったのだ  
が、な、な、な、な、な、な、な、な  
もしかわらず、Daiiは2回目の  
アタックでも一コーナーをすぎて  
スグの2コーナー入口でグラベル  
ベッドに突っ込み、一回も計測で  
きず……。みんなが「奥のWヘア  
ピンが……」とか言いあって  
いる。

オマケに言つておくと、4軸に  
もしかわらず、Daiiは2回目の  
アタックでも一コーナーをすぎて  
スグの2コーナー入口でグラベル  
ベッドに突っ込み、一回も計測で  
きず……。みんなが「奥のWヘア  
ピンが……」とか言いあって  
も、「そんなコーナーがあるの?」  
と話題についていけなかつたの  
だ!

Tーのグラベルベッドは深い。  
こうなるといかに4軸のセリカと  
はいえ、ズッボりはまって脱出不  
可能。事前の協定どおり、即時赤  
旗中断でDaiiを引き上げ、再ア  
タックとなつた。Daiiはジャリ  
を落とす作業が必要で、一回目の  
アタックはこれでオシマイ。

そして、Bグループ。注目は、  
今までのステージでマッキー牧原  
に惜敗しているニヤ倉クラゾーが  
タクとつたから、けつこう激しいT  
ーLトゥノーズのバトルになつたり  
して……。

2位には意外にも(失礼!)レ  
イブロス・スープラ。FRながら、  
この路面でもしっかり攻め込んで  
た。パワードライバーのマシンで  
ドライバーのウデが光った。

そして注目のマインズが3位  
ニヤ倉クラゾーにしてみれば初めてのウェット路面でのサーキット

アタックだし、この順位はいたし  
かたないか?

ま、順位をみると、やっぱGT

FRが上位に来たな、って感じだけ  
ど、FRのスーパーラだつて2位だ  
し、FRベースでパワーも出てい  
て、つて方がいいのかね。他のチ

ューナーはけつこうアンダーだつ  
たり、アンダーから急にオーバー